いっぽったおり

H28年度 No.7

はじめのいっぽ弥生 平成28年12月24日

いよいよ年の瀬となり、冬休みの過ごし方や年末の大掃除などをあれこれ考えている矢先に、どっさりの大雪で雪かきに追われるスタッフたち。振り返ると、一年間は本当にあっという間ですね。

特に今年は、人生最大のハプニングと向き合い、健康のありがたさを痛感する年となりました。今後も体に優しい食事を心がけ、体力づくりと正しい生活習慣を、子どもたちと共有していきたいなあと思います。

皆様が素晴らしい新年を迎えられますよう、心より祈念いたします。

○冬休みの過ごし方○

児童発達支援

10:00~ 通常通りの療育を行いつつ、

小中学生との異年齢交流も

楽しみます。

11:45~ 昼食

12:30 帰りの時間

放課後等デイサービス

(小中学生・幼稚園・保育園の利用児)

10:00~ 課題学習

10:30~ 課外活動

12:00~ 昼食、自由遊び

13:30 小中学生 帰りの時間

※日中一時支援をご利用の方は、就労時間に合わせた受け入れとなりますのでご安心ください。

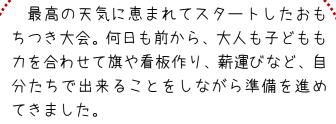
※お迎え時間(9時~10時)にばらつきがありますが、ご協力よろしくお願いします。

○今後の予定○	
12月24日(土)	クリスマス会 (10:30~11:30 畜大にて)
12月30日(金) ~1月4日(水)	正月休み
1月5日(木)	通常通りの開所スタート
1月7日(土)	バルーンアート、お楽しみ会
1月13日(金)	オマチマンコンサート 会場:サラダ館 10:30~11:30
1月14日(土)	みみず座 人形劇 会場:はじめのいっぽ
1月18日(水)	三学期スタート
1月25日(水)	親子でいっぽ(午前幼児対象) 10:00~12:30

※冬休み中、クリスマスプレゼントにもらった絵本/一トを使って、 オリジナルの絵本作りをします。

○おもちつき大会で、みんな笑顔!○









理事さんたちも、朝早くからお湯をわかし てウスとキネを温め、もち米をふかすなど、 縁の下の力持ちとして、たくさんお手伝いを して頂きました。ありがとうございます。



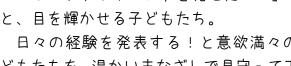
10時、子どもたちが弾んだ足取りでいっぽ に到着し、開始時刻の 10 時半にはボランテ ィアの皆さんをはじめ、地域の方々、幼児さ ん親子に学校の先生たちなど、総勢80人を 超える方々が集まり、大盛況となりました。

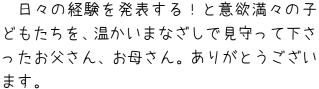
和やかに時間が過ぎ、お腹もいっぱいにな ったころ、



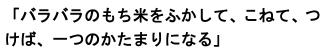
「一輪車で、みんなにメリーゴランドを見て もらいたい!」

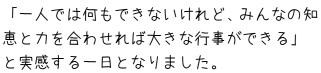
「スポーツクライミングを見せたい!」

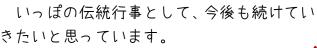




















○療育シーン(午前幼児編)○







「言葉が出なくて…」

「友だちとの関わりが苦手なんです…」

悩みと不安をいっぱい抱えていっぽに来たお友だち。

でも今では、制作活動や自然散策などの**「遊び」を通して**、手指操作、体力面でとても成長が感じられるほか、お昼もみんなで仲良く食べています。楽しくコミュニケーションをとることで、友だち同士での会話もぐんと増えました。

なかなか自分の気持ちを伝えられなかった子が、今ではしっかりと会話のキャッチボールを楽しめるようになったり、反対に、あんなに小さくてマイペースだった子が、今ではお友だち気づかったり、ときにはグッと我慢できるようになり…。

「信じて待つ」ことの大切さを実感する毎日です。

(陰の声)

思い通りにならないのが子育てです。嬉しかったことや嫌だったこと…自分が子供だった頃の気持ちを自己開示しながら、ゆっくり、じっくり、楽しみましょう!











○療育シーン 午後編○







一人ひとりの命の尊さを大切に伝えていきたいという願いから、できるだけその子 が生まれた日に誕生会を行っています。

「〇〇ちゃんのお誕生会するよ」の言葉がけに、各々メッセージカードやプレゼントを作成。お友だちを思いやる気持ちが育まれていると実感します。

素敵な仲間に恵まれ、幸せな子どもたち。

「ありのままの自分が、大好き!」

これからも、そう思える時間を過ごしてほしいと思います。







室内でも屋外でも、体力づくりにはげむ子どもたち。

人の体は、柱となる体幹から末端である手指の先まで、すみずみまで関わり合いながら脳と直結しています。

腹筋や背筋を刺激する体操をはじめ、スポーツクライミングやドッジボールなど、 全身を使った**「遊び」**は、全身をつなぐ神経回路を活発にし、脳を活性化するのに最 適なのです。

たっぷり遊んだ後の手浴は、みんなにとって癒しの時間。動と静のメリハリをつけ、**「ゆっくり、じっくり、丁寧な関わり」**で、無理なく子どもたちがいっぽずつ成長していく姿を見守っていきたいと思っています。





